

農林水産分野における気候変動対応のための研究開発  
「気候変動及び極端現象の影響評価」  
研究成果概要図

中課題番号	13406629
中課題名	極端現象の増加に係る農業水資源、土地資源及び森林の脆弱性の影響評価

研究実施期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
研究開発責任者	増本 隆夫
研究開発責任者 連絡先	TEL : 029-838-7509
共同研究機関	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 国立大学法人 山形大学 関東学院大学

農林水産省内 本事業担当	農林水産技術会議事務局研究開発官（基礎・基盤、環境）室 代表：03-3502-8111（内線5870）
-----------------	--

# 背景

極端現象に関しては、

- ・ 地球温暖化に伴う影響は至る所で発現
- ・ IPCC特別報告書で、将来の両極端現象(洪水と渇水)の激化は確実視
- ・ 日本の数値実験でも、将来モンスーンアジア域の両極端現象の増大予想



# 研究の目的

- ・ 持続的な森林生態系の利活用や食料生産と農業水利用の技術やシステムを高度化
- ・ 極端現象が農業水資源や地すべりへの影響、脆弱性の変化を高精度に評価
- ・ 1) 農業水資源及び土地資源と2) 地すべりに関し、影響解析モデルと最新の全球気候モデル予測を用い、農業水資源、土地資源及び森林の脆弱性の高精度の影響評価

# 主要な研究成果

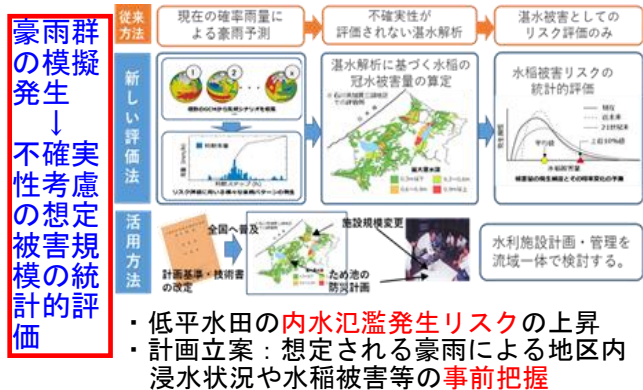
## 極端現象の増加に係る農業水資源、土地資源及び森林の脆弱性の影響評価

### ① 気候変動が農業水利用や水資源に与える影響の全国評価マップ



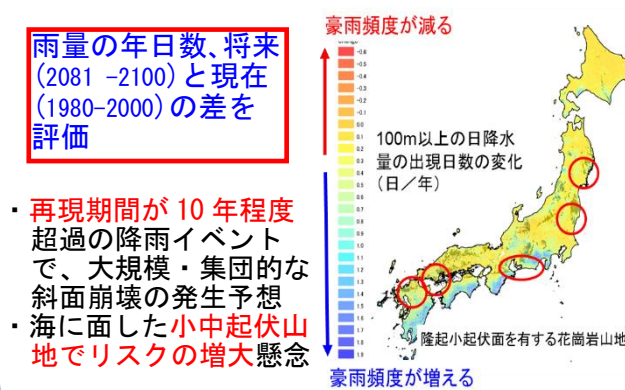
### 低平地水稲の洪水被害評価

### ② 水稲被害リスク評価法



### 森林地滑りへの影響評価

### ③ リスク増大の花崗岩山地は？



気候変動下における渇水・洪水等の極端現象の影響による農業水資源・土地資源の脆弱性および農地・森林地域の地すべり等に対する安心な社会の実現が期待